

進路希望の実現と地域を支える人材育成を目指して

新潟県立佐渡総合高等学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、明治43年に佐渡郡新穂村・畑野村組合立佐渡農学校として開校し、その後、幾多の変遷を経て、平成13年に総合学科を設置する新潟県立佐渡総合高等学校として改組されました。本年度で創立110年目を迎える歴史と伝統を誇る高等学校であり、卒業生は、1万6千有余名を数え、佐渡島内をはじめ全国の各界に人材を輩出してきました。

佐渡島内で唯一、専門教育を受けることができる総合学科の本校は、普通教科・専門教科にわたって数多くの科目を開講し、生徒一人一人の進路希望や興味・関心に応じた学びの機会を提供しています。1年次に基礎科目を、2年次以降は「人文・自然科学」、「農産・加工」、「環境工学」、「ビジネス・情報」、「生活福祉」の5系列（その他、選択科目の系列として「地域学系列」）の中から系列選択をし、それぞれの専門分野を学びます。

これまで、総合学科の特色を活かした様々な取組を推進してきており、佐渡の産業教育の拠点校として、キャリア教育ブランドデザイン「佐渡総合FSTプラン」を策定・実施するとともに、3年間の継続した進路学習に取り組んでいます。本年度、本校は文部科学省事業である「令和2年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」のアソシエイト（地域協働推進校）に指定されたことから、地域との協働による探究的な学びの実現に向けた取組を一層進めてまいります。

創立110周年の節目に当たり

本年度、本校は大きな節目となる創立110周年を迎えます。既に一昨年度、記念事業の一環として、中庭と正面玄関前の整備を行いました。その他、校内の通信ネットワーク環境を整備するなど、学校教育の充実に資する事業も行うこととなっています。

この機会に、本校の歩みを振り返り、創立の意義と使命を確認するとともに、今後、新たな歴史と伝統を積み重ねていきます。併せて、記念事業を通して、生徒の人間形成を図り、より良い伝統を自ら築き上げようとする態度の育成に努めてまいります。

本校の特色ある取組に対して

今後も生徒の進路実現を図るとともに、地域を支える人材育成を目指し、教職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、佐渡総合高等学校の取組について、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月

新潟県立佐渡総合高等学校長 阿部 正一